

## (宮城県) 女川原子力発電所に関する住民説明会を7ヶ所で開催

### ■宮城県は、女川原発2号機再稼働についてどのように検討してきたのか・・・

昨年11月末、原子力規制委員会は、『女川原発2号機の基準適合』という審査書案を発表し、12月には国民にパブリックコメントを求めました。ここに寄せられた意見・質問の内容も数も明らかにされないまま、2月26日には『適合(合格)』と判断され、資源エネルギー庁から村井知事に対して、県と立地自治体の再稼働への地元同意を求めてきました。

この間、東北電力は、安全対策工事の完了は2021年度、と延期を発表しました。

また、宮城県は、原子力災害時避難経路阻害要因調査結果を報告し、避難には3~5日それ以上かかり、検査所や避難者への最低の支援物資やトイレの用意もないなど、問題の多い実効性のない避難計画を知った地元では、怒りと不安が大きくなっています。

また、村井知事が学者など10人の有識者に委嘱した「女川原発2号機の安全性検討会」は、2014年11月~2020年7月までに24回の検討を重ねてきたものの、女川原発の安全性を追及する視点は弱く、会に求められていたはずの「安全」という重要な確認は出さず、出された意見を列挙してまとめ、知事・石巻市長・女川町長に提出して終了しました。

### ■住民説明会7ヶ所に、参加者は757人だけ

8月1日の女川会場を皮切りに、石巻市(4ヶ所)・東松島市・南三陸町で開催した「女川原発の住民説明会」には、2000人を予定したものの757人の参加でした。仙台市をはじめ全県対象の説明会をすべき、と再三要望してきましたが、実施していません。福島事態を考えれば、県内どこでも被災するし、支援する立場になり、全県民が関係者であることは明らかです。

説明会の参加者からは、避難計画が実効性のない机上の計画であること、渋滞や屋内退避への疑問などの発言や再稼働への不安や疑問、反対の意見が続きました。原発賛成や再稼働容認の意見は一つも出されず、知事は「避難訓練参加」を約束しました。説明会をコロナ禍の中で強行し、多くの住民が納得できない「再稼働」を同意することは、県民の願いに反することがますますはっきりしてきました。この説明会の録画は、県のHPから観ることができます。↓

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/onagawa-setsumei-ovie.html>

### 8月1日 女川町での住民説明会 ↓



8月20日女性ネットの街頭署名

### 街頭署名する若者が以前より多くなっている。

街頭で署名を呼び掛ける女性たちは、毎回10~15人の間。昼休み時間である1時間だけですが、粘り強く取り組んできて9年以上になります。この日は、昼間30度以上の暑い日でしたが、11人が参加して74筆の署名が集まりました。

「村井さんは県民のこと真面目に考えてないのかねー」「若い者が大変になるんだよ」「この署名はみんながやったらいいのにねー」と、一言二言語りながら署名していきます。連れ立って歩いてきた若者たちが、いっしょに署名していく姿が以前よりも多くなりました。再稼働に同意しないように求める請願署名—皆でさらに増やして、提出しましょう。

## 「女川原発再稼働 STOP」を求める街頭宣伝・請願署名行動は、

# 9月2日(水)・10日(木)12~13時 平和ビル前

↑女川原発住民運動連絡センター ↑女性ネットみやぎ のよびかけ

再稼働 STOP を求める請願署名は9月23日頃、県議会に提出します。

県議会提出前の最終版の署名行動です、お誘いあわせてご参加ください。

女性ネットは、街頭での訴え・プラスター宣伝とともに、署名用紙を封筒に入れて配り、記入していただいた署名用紙を返送して下さるようお願いしています。

●お手持ちの署名があれば、お届けください。

# 講談師 神田香織さんが語る 「はだしのゲン」から「311」まで —私の歩いてきた道—

原発再稼働を許さないみんなの声と力をもっと強くもっと大きく広げましょう！



神田香織さん  
福島県いわき市生まれ、演劇経験などを経て、80年に講談師二代目神田山福の門下生となる。二つ目以降、神田香織独自の講談を次々発表。「はだしのゲン」「チェルノブイリの祈り」「フラガール物語」など、新規地を切り開いてきた。3・11震災後、2013年「福島からの祈り—ある母子避難の声」を完成させ、全国で公演している。NPO法人「福島支援人と文化ネットワーク」代表。



あひつかりより  
蟻塚亮二さん(医師)

## 講談師 神田香織さん

「はだしのゲン」「チェルノブイリへの祈り」など、原爆や原発を語り続けていた2011年、故郷で原発事故が起きた。  
チェルノブイリもフクシマも、まだ終わってはいない。事故さえなければ、母と子たちのいのちは救われ、故郷に住み続けることができたのだ。原発事故の悲惨を記憶し、人間の復権を求めて、全国各地に向き、運動を動かし、語り続けている。

## 医師 蟻塚亮二さん

1972年弘前大学医学部卒。弘前の福代健生病院で院長を務め、その後2004年から沖縄県那覇市の沖縄協同病院に勤務。  
2013年から福島県相馬市のメンタルクリニックなごみ院長として、原発被災住民に寄り添って診療を続けている精神科医。  
「3・11の災害—福島にみるストレス症候群(共著)」「うつ病を体験した精神科医の処方箋」などの著書も多数。雑誌「世界」や「JOURNALISM」などに寄稿し、全国各地で講演している。

◆とき 9月6日(日曜)午後2時～4時

◆ところ エルパーク仙台6F ギャラリーホール  
(仙台市青葉区一番町四丁目11-1 TEL022-268-8300)

◆参加費 1000円

※仙台市地下鉄・南北線「勾当台公園駅」下車南1番出口から地下道→エレベーターで6Fへ  
※バス:商工会議所前または定禅寺通り市役所前下車

参加希望者は、会場の人数制限があるため、前もって参加申し込みをしてください。申し込みは、裏面のFAX申込用紙にご記入の上、送信してください。E-mail、携帯電話でもご連絡でもお受けします。気軽にご連絡ください。E-mail [has07314@nifty.ne.jp](mailto:has07314@nifty.ne.jp) 携帯電話 090-8819-9920(館脇)

主催: さようなら原発みやぎ県民大集会実行委員会  
連絡先 090-8819-9920(館脇)

## ←9月6日(日) 神田香織さん講演会

コロナ感染対策と安全のため、予約申し込みをお願いしておりますが、まだ残席があります。当日、会場での申し込みも可能です。お誘いあわせて、参加ください。

会場内は、感染対策を致しておりますが、マスクの着用をお願いします。

## 書籍販売もあります。

神田香織さんの著書 (インパクト出版会)

\*「乱世を生き抜く語り口を持って」

\*「311後を生き抜く力声を持って」

蟻塚さんの著書 も販売予定

## 女川署名集約しています。

→9月県議会に提出します。

\*お手元に、記入された署名用紙があれば、下記までお願いします。

〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-5-10  
御譜代町ビル 305 署名係

\*女川原発再稼働阻止の署名は、インターネットでもできます。  
<http://chn.g.it/gSm6fy25>

# 女川原発再稼働を止めよう！ 県民大集会

## 9月26日(土)1時半～集会～デモ

### 仙台西公園(こけし塔の前)で集会後、アピールデモ～青葉通り

県知事・県議会に、「女川原発再稼働反対！安全安心の環境を未来に引き継ぐ」県民の強い意思をはっきりと示しましょう！大きなアピールデモになるように、お誘いあわせてご参加ください。

## 原発・放射能・子ども・平和関連などのとくみ予定

- ◆脱原発みやぎ 金曜デモ仙台中央部「みやぎ金曜デモ」:7月17・24・31日(金)18時15分集会=元鍛冶丁公園→デモ出発
- ◆「女の平和」ピースアクション街頭宣伝・署名行動 毎月15・25日12～13時 一番町フォーラス前 主催:「女の平和」ピースアクション
- ◆9月2日(水)12～13時 女川原発再稼働STOP 街頭宣伝署名行動 平和ビル前 主催:原発問題住民運動連絡センター
- ◆9月5日(土)13時半～15時半 9条の会連絡会講演会「今こそ憲法を！「コロナ」をのりこえ、時代をひらく」 渡辺治さん 於:東京エレクトロンホール(宮城県民会館)601 資料代500円
- ◆9月6日(日)14～16時 神田香織さん講演会 参加費1000円 於:エルパークギャラリーホール 主催:県民大集会実行委員会
- ◆9月10日(木)12～13時 女川原発再稼働STOP 街頭宣伝署名行動 平和ビル前 主催:女性ネットみやぎ
- ◆9月12日(土)14～16時 宮城県保険医協会公開講座「わたしが大飯原発を止めた理由—女川原発再稼働はありえない」 講演:樋口英明氏(元福井地裁裁判長) 於:法華クラブ仙台ハーモニーホール・入場無料 申し込み先着順 申込FAX022-265-0576 メールmiyagi-hok@doc-net.or.jp
- ◆9月23日(水)宮城県議会9月議会開会～10月22日(木)までの予定(この議会開会中に署名を提出します。)
- ◆9月26日(土)13時半～「さようなら原発 みやぎ県民大集会」於:仙台西公園 →デモ 主催:県民大集会実行委員会